

深野康彦の 先取り経済NEWS!!

編集・発行 株式会社 アサヒ・ビジネスセンター 2013年9月4日

今月のトピックス 「財政危機なら国の資産をまず処分すべき」

や古い新聞記事になりますが、2013年8月10日に「国の借金が初めて1000兆円を超えた」という報道がありました。前日の9日に財務省が「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高が1008兆6281億円」と発表したからです。しかし、この借金報道を鵜呑みにするわけにはいきません。報道されない本当の借金を検証してみましょう。

冒頭に述べた国債や借入金、政府短期証券を合わせた「国の借金」の残高が2013年6月末時点で1000兆円を突破したと財務省が発表しました。国の借金は1981年度に100兆円を超えた後、19年かけて2000年度に500兆円を突破。そして13年かけて1000兆円突破と借金の増加ペースは加速しています。2013年7月1日時点の総務省の人口推計（1億2735万人）を基に単純計算すると、国民1人当たり約792万円の借金を抱えていることになり、仮に4人家族であれば約3168万円もの多額の借金になるのです。8月12日に発表されたわが国の2013年4月～6月のGDP（国内総生産）の速報値によれば、名目で479.4兆円、実質で525.9兆円です。GDPに対して名目で約2.1倍、実質で約1.92倍もの借金をしているのですから、これは大変だ!となるはずですが、発表前後の市場金利はほとんど動いていません。財務省が発表している国債金利情報によれば、7年以内の金利は、発表当日と翌日（営業日）を比較すると若干金利が上昇していますが、8年以上に至っては逆に金利は低下しているのです。少し目を開けたとしても、とても借金1000兆円超えに債券市場が反応したとは言えないような穏やかな動きに終始していました。見方によっては日本銀行が多額の国債を買い入れているから（異次元緩和）と言えるかもしれませんが、真相は借金報道の在り方に問題があると思われてなりません。

<国際機関では資産を引いたネット債務で判断>

国の借金、1000兆円超えを財務省が公表した日、あるいは翌日には新聞、ニュースなどで大々的(?)に国の借金報道があったようですが、先に述べたように報道と市場の反応は正反対の雰囲気でした。本来であれば、もっと騒がれてもおかしくはないのにと考えた人もいたのではないのでしょうか。騒がれなかった理由は、財務省の発表に偏りがあったことがあげられます。IMF（国際通貨基金）などの国際機関では、国の負債の大きさを見る場合には、単純に負債額を見るのではなく、国が保有している資産を引いたネット債務で見るのが一般的だからです。筆者はすべての報道を確認したわけではありませんが、ネット債務を報道した機関は皆無だと思えます。

では、ネット債務を確認する場合、どうしたらよいのかと言えば、財務省が毎年作成している国のバランスシートを見ればよいのです。財務省は、毎年「国の財務書類」を作成しており、その中に「国の貸借対照表」があります。直近の貸借対照表は2011年度末=2012年3月31日現在のものを見ることができます。表は国の貸借対照表です。負債合計が1088.2兆円と財務省が公表する数字よりも大きくなっていますが、財務省が今回公表した数字は国の負債の一部に過ぎず、国全体では2010年3月末に既に1019兆円と1000兆円を超えているのです。借金の額はともかくとして、注目してもらいたいのは向かって左側にある資産合計の628.9兆円です。国は1088.2兆円も負債残高がある一方、資産も628.9兆円も抱えているのです。しかも、現預金17.7兆円、有価証券97.6兆円、貸付金142.9兆円、運用預託金110.5兆円、出資金59.3兆円という処分しようと思えば処分することができる資産をたくさん保有しているのです。ただし、運用預託金は年金資産なので除きます。仮に運用預託金を除く資産を処分すると317.5兆円になり、借金の返済に充当すれば770.7兆円にまで借金の額を圧縮することが可能になります。もっと言えば、仮にすべての資産を処分して借金の返済に充当すれば、向かって右側の下から2番目、資産・負債差額の459.3兆円まで借金を圧縮できる。仮に459.3兆円になれば、対GDP比で名目約95.8%、実質で87.3%まで借金の割合は劇的に減るのです。このことをマーケット参加者は知っているからこそ、国の借金初の1000兆円超えでもほとんど債券市場は反応しなかったのでしょう。

国の借金額=負債額の報道が大々的にあつたとしても、国債の金利が大きく動くことは当面はないと思えます。本当にわが国が財政危機であるのなら、国の資産処分を行うのがまず先決だと思われてなりません。

国の貸借対照表(平成23年度末)

(資産の部)		(負債の部)	
現金・預金	17.7	政府短期証券	107.2
有価証券	97.6	公債	791.0
未収金等	13.0	借入金	24.5
貸付金	142.9	預託金	7.5
運用寄託金	110.5	公的年金預り金	118.5
貸倒引当金	-2.7	退職給付引当金等	11.0
有形固定資産	180.9	その他の負債	28.5
無形固定資産	0.2	負債合計	1088.2
出資金	59.3	(資産・負債差額の部)	
その他資産	5.2	資産・負債差額	-459.3
資産合計	628.9	負債及び資産・負債差額計	628.9

単位:兆円、出所=財務省公表データより(有)ファイナンシャルリサーチ作成